



桃見台小学校 学校だより

# 桃 風

No.22

発行日：平成27年02月19日号

発行：郡山市立桃見台小学校

## 桃小が少しずつ、きれいになっていきます みんなの「思い」が、「形」になっていきます

北校舎の大規模改修工事が終了いたしました。1年生から3年生までの子どもたちは、プレハブ校舎から新しい校舎に移り、学習を始めました。PTAの奉仕作業の時に見ていただいたように、たいへんきれいな校舎になりました。明日は、参観日になります。北校舎がどのように変わったかを是非ともご覧ください。

きれいになって気がつくのは、既存の備品等です。用務員の松崎さんは、図書室入り口に置いた児童の荷物置き用のロッカーを薄い



ピンク色に塗ってくれました。今まで使っていたロッカーは、暗い、暗い黒色。楽しく図書館に入ろうとした子どもたちが、入口で、出鼻をくじかれたのではいけない。そんな「思い」を持っていたら、あっという間に、その思いは「形」になりました。

以前学校だよりでもお知らせしましたが、校地内には、今回の工事対象になっていないところで、なんとかきれいにしたいという「思い」を持っていた所があります。それが、いろいろな人にお世話になり「形」になりつつあります。今週工事を始めていただいたのは、「①体育館と北校舎の通路の改修工事」「②石油庫の改修工事」「③ゴミ庫の改修工事」です。仕上がりを楽しみ



です。

二宮金次郎の像については、裏面をご覧ください。



## 二宮金次郎像は 2 代目だった

東日本大震災で倒れてしまった「二宮金次郎の像」は、今年、約 4 年ぶりに再建することができました。台座から転げ落ちたときに、本体は、ほとんど壊れなかったので、再建をスムーズに進めることができました。

さて、再建にあたり、様々な調査をしてみたら、いろんな事が分かってきました。

まず、最初に作ったのが、昭和 16 年 12 月でした。その時は、「楠公像」を建立したと書いてあります。たぶん、楠木正成の像だったのだと思います。

それが、第 2 次世界大戦のために、台座を残して上の部分は、戦争のために使われることになったようです。(台を残して像は応召す)

再建されたのは、昭和 41 年 4 月でした。その時



に寄贈いただいたのは「大河原半四郎さん」という方でした。それが、今校庭に立っている「二宮金次郎像」になります。

その後平成 23 年 3 月 11 日の東日本大震災で、倒壊し、プールの下倉庫に長らく眠っていたのが、平成 27 年 2 月に、約 4 年ぶりの再建となりました。

